

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190700163		
法人名	社会医療法人 祐愛会		
事業所名	グループホーム ゆうあい3丁目		
所在地	佐賀県鹿島市大字高津原2962-1		
自己評価作成日	平成 31年 2月 18日	評価結果市町村受理日	令和2年2月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 佐賀県社会福祉士会
所在地	佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号
訪問調査日	平成 31年 3月 15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者が自由に、その人らしい生活が続けられるよう、一人一人の笑顔を大切に支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ゆうあいビレッジ」と呼ばれる複数の系列施設が隣接する同法人は保健・医療・福祉サービスを一体的に提供できる体制となっている。事業所は地域のニーズに応え、昨年開設された3つ目のグループホームである。敷地内には草花や芝生など自然に囲まれた空間に整備され、静かな環境のもと入居者が家庭的な雰囲気の中で穏やかな生活を送ることができるよう努められている。同法人での委員会や各勉強会、季節に応じた行事、家族会、避難訓練など取り組みもされており、ホーム自体は経験・知識豊かな職員が配置され家族の面会や交流が多く、独自理念として掲げている地域に開かれたホームとなっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	リビングなどに施設理念を張り出し、日常的に見えるようにし、毎朝、朝礼でケア理念を唱和している。地域の方との交流の面で理想に近づけていない。	ホーム開設にあたり、目指すサービスあり方などを職員が話し合い、独自の理念が掲げられている。毎朝の唱和や会議で共有を図るほか、実践の中で意識をしながら支援をされている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年に1回地域の方と一緒に清掃活動を行っている。運営推進会議に地域の区長や民生委員に参加してもらっている。地域の消防団との防災訓練など行っているが、日常的な交流ができていない。	自治会に加入されており、地区の清掃活動に参加されている。また、法人内でのイベント「ゆうあいフェア」に地域住民を招いたり、保育園児や学生とも交流されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で地区の代表者については理解を求めており、認知症サポーター研修を開催するなどして、少しずつ地域の方に向けた活動ができています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの行事や取り組みを報告し、頂いた意見を検討し実践している。	区長や民生委員の参加もあり、毎回積極的に意見交換が行われている。行事の取り組みや報告・ホームからの情報伝達、ケアについての勉強会を行っている。出された意見は職員で共有し、サービス向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議開催のお知らせを直接市の職員に手渡しに行き、会議に市の担当者に参加してもらい意見を頂いている。	運営推進会議に市職員に参加してもらい、情報共有を行っている。普段からも情報伝達や相談ができやすい環境ができており、連携されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会へ出席し、定期的に勉強会を行い、身体拘束廃止委員を中心に毎月検討会を開催している。身体拘束廃止マニュアルに沿って身体拘束ゼロに取り組んでいる。	日頃から勉強会等を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。センサーマットについては最小限の使用とし、職員が寄り添いながら常に検討を行っている。言葉による拘束もしないよう努められている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止についての研修会をおこない、マニュアルに沿って高齢者虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を実施している。必要があれば家族へ情報提供を行い関係者との話し合いを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時や家族会にて、書面に添って説明を十分に行い、疑問点を尋ね、理解を得るようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会やサービス担当者会議などの際に、家族の意見や不満などをじっくり聴ける機会をもうけている。玄関に意見箱を設置している。利用者、家族の意見をサービス改善会議にて改善検討を行っている。	家族の面会は頻繁にあり、面会時やイベント時に意向など聴かれている。遠方の家族で面会が難しい場合は、電話などで把握している。意見については、サービスに反映させるよう努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、相談会を開催しており意見交換している。また、個人面談の機会を設け意見を聴いている。	定例の会議や個人面談において、業務での気づきや意見を出してもらいながら改善を行っている。内容に応じて共有し、運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	半期毎に個人目標を設定し努力を評価し、就業内容などを総合的に評価している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験年数により法人内コース研修を実施したり、全職員対象の研修会を行ったり、法人外研修への参加を促し内容によっては研修費の補助を行い学習への参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム交流会に参加し、情報交換をおこなっている。他事業所のイベントに参加している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前より事前に訪問し、入居時に本人の意向の確認を行い、入居後も情報を元に深く関わり、入居者の事をより理解できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始時に面談を行い、家族の苦労や不安を十分に聞く機会をもち、受け止める努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話す機会を十分に設け、求めに応じ安心して暮らせる事を伝えている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯、調理、趣味活動など生活を共に過ごし、できるだけ寄り添えるように努力している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月々の行事予定をご案内したり日々の様子をお伝えしたり、誕生日を一緒にお祝いしたり家族と本人と一緒にゆっくりと過ごせる場を提供できるよう努め、家族とともに支援していけるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方の家族にも日々の活動の様子を写真つきで送付したり、面会に来ていただいたり、積極的に訪問したり関係性が途切れないよう支援している。敷地内の他事業所を利用されている友人や顔なじみの介護者に会いに行ったり、希望時に自宅へ帰れるように支援している。	ホームでは入居時にアセスメントを行い、情報を集めて意向を把握するよう努められているが、実践についてはこれからである。家族の協力があれば、馴染みの場所へ出かけている。	把握した情報をもとに、ホームとして馴染みの場所へ出向いていくなど、馴染みの人や場所との関係が継続に向けた取り組みに期待したい。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士同じテーブルにしたり、作業や活動をテーブルを囲んで出来るよう支援し、孤立する方がいないよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	同じ敷地内の老健への入所の場合は面会に行き、積極的に訪問したりしている。必要があれば電話をしたり面会したりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中での会話や行動、以前の生活歴より本人の思いを把握して、支援できるように努力している。	生活歴や日々の生活で本人の意向を把握し、可能な限り生活に反映できるよう努められている。言葉だけではなく、表情や行動の背景にも気をつけて支援されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活歴やこれまでの介護の経過を聞き取り、入居後も日々の会話の中から補足を行いその時の様子をより詳しく知るよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当者がアセスメントを行い、カンファレンスを行い、本人の状況を相談会で把握し、ケアの統一が出来るよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員によるアセスメントし、主治医の訪問診療時に意見を求めた物、面会時に家族への希望を尋ね、必要時はリハビリスタッフ等に相談し、それを元にカンファレンスを行い、現状に即した介護計画を作成している。	介護計画は状況に応じて現状に即した対応がされ、設定期間ごとに見直しを行っている。また、本人や家族に意向を確認し、職員間で話し合いケアに反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアプランの評価気付きの記録を個別に行い、それを元に担当職員が毎月評価を行い介護計画への見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	他事業所へのレクリエーション参加、出張散髪の利用、自宅への外出などをおこなっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事に参加したり、地域の商店に買い物に行ったり、楽しみが出来るようにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの専門医への受診の継続や必要時は本人、家族のきぼうに添って適切な医療が受けられるよう配慮している。	入居時に本人・家族の意向を確認し、協力医療機関での往診が多く、希望に沿って対応をされている。他科受診の場合は、職員が付き添いを行い、適切な医療が受けられるよう支援をされている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を常勤配置している。日常の身体的変化を相談し、看護師は主治医へと報告、相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関との情報交換を行い、家族とも相談しながら適切な期間で退院できるように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人や家族、主治医と相談しながら方針を決め、共有し支援に取り組んでいる。	入居契約時に看取り指針について家族に説明を行い、協力医療機関と協力しながら状況に即した対応をされている。家族・主治医・職員が方針を共有し、チームで重度化や終末期に向けた支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急時の対応やBLSの勉強会は参加しているが、全体を通じた訓練は行っていない。、今後勉強会の計画、実施が必要。BLSの資格取得を奨励して、受講している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練は地元消防団・消防署の協力により、定期的に行っている。、水害や地震訓練は行っていない。	年2回のホーム単独の訓練と、年1回の法人全体の訓練が行われている。法人全体の訓練への参加は、消防団、及び消防署、地域住民はあるが、ホーム単独の訓練への消防団や地域住民の参加はこれからである。	法人全体の訓練後に、ホームの状況について確認をしてもらうなど、地域住民がホームの状況を把握できるような取り組みに期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人ひとりの性格や状況に合わせて言葉掛けや対応を行っている。	入浴時や排泄時などプライバシーに配慮した対応をされている。勉強会では一人ひとりに合わせた言葉かけや対応について共有をされている。個人情報の取り扱いについて、家族へ書面で説明し、同意をもらっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その都度本人の思いや希望を尋ねたり、話しかけたりし本人の意思を表現できるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々の様子や希望に沿ってその日その日に合わせた支援が出来るよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人用の化粧品を準備したり、髪染めをしたり、出かけしたり気に入った服が着れる様に支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日行っていないが、希望時に作りたい物を、それぞれの能力に応じた準備や片付けを行ってもらっている。	法人内の管理栄養士が、本人の希望や介護状況に合わせて献立を作成している。季節に合わせた食事やおやつ作り、外食など、食事を楽しむことができる支援をされている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせ食事量にこだわらず、補助食や嗜好品をあわせて提供することにより、必要なカロリーや水分量が摂取できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	1人ひとりの能力や口腔内の状態にあわせて言葉掛けや介助方法を変え、適切に清潔保持が行えるよう援助している。必要時には歯科衛生士に相談しケアを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のサインや身体の状態に合わせ誘導を行ったり、一人ひとりに合わせた排泄時間を検討し、出来るだけトイレやポータブルトイレにて排泄できる様にしたたりその方に合わせたオムツの使用ができるよう支援している。	一人ひとりの排泄パターンや状況に応じ、トイレ誘導やポータブルトイレでの支援を行っている。自尊心に配慮しながら、入居者に合わせた排泄支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を毎日チェックし、一人ひとりについて対応方法が決まっている。便秘傾向の方には水分摂取や運動を促している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	朝から入浴時間の希望を尋ねたり、気持ちが進んだ時に声掛けを行っている。希望があれば対応したり体調に合わせて入浴する日を調整したりしている。	週3回入浴しており、希望や体調に合わせた対応を行っている。また、脱衣所と浴室を温めてから入浴するなど、冬場のヒートショック対策がなされている。入浴中は、職員との会話を楽しみながら、ゆっくり入浴することができる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状況に合わせて眠りたい時に安心できる場所で休息できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬ノートを活用したり、服薬管理表や熱型表、情報用紙などに記載し、一人ひとりの薬の内容を理解し、症状の変化が観察できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	運動をしたり手作業をしたり歌を唄ったり、一人ひとりの好みに合わせて楽しみが持てる様支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	敷地内を自由に散歩できたり、希望があれば家族と協力し自宅へ外出したり出来るようにしている。	本人の要望に応じ、体調や天候に配慮してドライブに出かけている。重度化して遠出が難しい場合は、敷地内のテラスを散歩するなど、入居者が外出を楽しめる工夫がされている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの方がスタッフ管理している。一緒に買い物に行った際には、財布を渡し、支払ってもらう事がある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話したり、手紙や贈り物が届くとお礼の電話をかけたり友人や家族への手紙を出せるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や貼り絵を飾ったり写真を飾ったり、テレビの音やカーテンでの光の調整を行い心地よく過ごせるようにしている。	白を基調した壁紙と光が入りやすい窓からは、入居者が長時間居心地よく過ごせる工夫がされている。窓からは敷地内の庭が一望でき、外からの騒音が少なく、穏やかな環境で過ごせる空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーに座ったり、気の合う方のテーブルへ自由に移動したり、促したりして落ち着いて過ごせるよう支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際や面会時に家族と相談し、なじみの家具を配置し、写真や手紙、その方の作品などを飾り、居心地良く過ごせるよう工夫している。	馴染みのものを自由に持ち込むことができ、馴染みの家具や家族の写真などが飾られている。ホームからはベッドと整理タンスのほか、加湿器も常備されているなど、居心地良く過ごせる空間づくりに努められている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室など分かりやすく表示したり、日時や時計を見やすい所に設置することで理解し行動しやすいように支援している。		